［参考］

|  |
| --- |
| **００２０．口座複数利用可能者登録** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＵＫＺ | 口座複数利用可能者登録 |

１．業務概要

~~（１）口座複数利用可能者登録の場合~~

特定の１つの口座を使用して、同一の会社で関税等の納付を行いたい場合に、当該口座を使用したい通関業等の利用者コード（５桁）、輸出入者コード（１２桁）または法人番号（１７桁）を登録する。

~~（２）口座複数利用可能者登録（強制入力）の場合~~

~~口座複数利用可能者登録を行い、強制入力待ち~~~~＊１~~~~となった場合は、本業務で強制的に口座複数利用可能者を登録する。~~

~~（＊１）強制入力待ちとは、入力された口座番号の口座名義人と異なる法人に属する口座利用可能者が入力された場合（入力者の利用者コード（５桁）下３桁と入力された口座利用可能者の利用者コード（５桁）下３桁が一致しない）場合に注意喚起を行っている状態である。この場合、「処理種別」欄に「Ｆ」を入力しない限り、口座利用可能者の登録は行えない。~~

２．入力者

通関業、船会社、船舶代理店、輸出入者

３．制限事項

　　①１口座番号に対して、登録可能な口座利用可能者は最大４０件とする。

~~②輸入者口座の登録は実施できないこととする。~~

~~③入力された口座番号に対する口座利用可能者に輸出入者コードまたは法人番号が存在すれば、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。~~

４．入力条件

　（１）入力者チェック

　　　　　システムに登録されている利用者であること。

（２）入力項目チェック

　　（Ａ）単項目チェック

　　　　　　「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

　　　　　　「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

　（３）口座ＤＢチェック

　　　　①入力された口座番号が口座ＤＢに存在すること。

~~②入力された口座番号の口座名義人が入力者であること。~~

~~③入力された口座番号の口座名義人が輸出入者コードまたは法人番号でないこと。~~

　　　　②入力された口座番号の口座名義人が利用者コードの場合は、入力者の利用者コードと一致すること。

③入力された口座番号の口座名義人が輸出入者コードまたは法人番号の場合は、利用者ＤＢに登録されている輸出入者コードが口座ＤＢに登録されている口座名義人と同一であること。ただし、国内用輸出入者ＤＢにて輸出入者コードと法人番号が紐づいて登録されている場合は、相互に変換してチェックを行う。

~~（４）利用者ＤＢチェック~~

　（４）口座利用可能者チェック

　　　　①入力された口座利用可能者が利用者コード（５桁）の場合、利用者ＤＢに存在すること。

②入力された口座利用可能者が輸出入者コードの場合、国内用輸出入者ＤＢに存在すること。

③入力された口座利用可能者が法人番号の場合、入力された法人番号の枝番を抜いた（先頭１３桁）が法人番号管理ＤＢに存在すること。

　ＮＡＣＣＳセンターが業務実施者の場合は以下④、⑤チェックは行わない。

④入力された口座番号の口座名義人が利用者コードの場合は、口座名義人と入力された利用者コードの企業略称が一致すること。

⑤入力された口座番号の口座名義人が輸出入者コードまたは法人番号の場合は、口座利用可能者欄に入力された輸出入者コードまたは法人番号と口座ＤＢに登録されている口座名義人の枝番（下４桁）を抜いた部分が一致すること。ただし、国内用輸出入者ＤＢにて輸出入者コードと法人番号が紐づいて登録されている場合は、相互に変換してチェックを行う。

（５）口座利用可能者ＤＢチェック

　　（Ａ）登録の場合

　　　　①入力された口座番号と口座利用可能者の利用者コード（５桁）が口座利用可能者ＤＢに存在しないこと。

　　　　②入力された口座番号と口座利用可能者の輸出入者コード（１２桁）が口座利用可能者ＤＢに存在しないこと。

　　　　③入力された口座番号と口座利用可能者の法人番号（１７桁）が口座利用可能者ＤＢに存在しないこと。

~~②~~④入力された口座番号の口座利用可能者ＤＢが４０件を超えていないこと。

　　（Ｂ）削除の場合

　　　　①入力された口座番号と口座利用可能者の利用者コード（５桁）が口座利用可能者ＤＢに存在すること。

　　　　②入力された口座番号と口座利用可能者の輸出入者コード（１２桁）が口座利用可能者ＤＢに存在すること。

　　　　③入力された口座番号と口座利用可能者の法人番号（１７桁）が口座利用可能者ＤＢに存在すること。

~~（６）強制入力チェック~~

~~口座複数利用可能者登録（強制入力）で「処理種別」欄に「Ｆ」の入力がない場合、強制入力待ちとする。~~

５．処理内容

　（１）入力チェック処理

　　　　　前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

　（２）口座利用可能者ＤＢ処理

　　（Ａ）登録の場合

入力された口座番号と口座利用可能者の利用者コード（５桁）、輸出入者コード（１２桁）または法人番号（１７桁）を登録する。

　　（Ｂ）削除の場合

入力された口座番号と口座利用可能者の利用者コード（５桁）、輸出入者コード（１２桁）または法人番号（１７桁）を削除する。

　（３）口座複数利用可能者情報編集処理

　　　　　口座利用可能者ＤＢより編集処理を行う。

　（４）出力情報出力処理

　　　　　後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 口座複数利用可能者情報 | ~~ＵＫＺ業務またはＵＫＺ１２業務で強制入力待ちとならなかった場合~~  なし | 入力者 |
| ~~口座複数利用可能者強制入力情報~~ | ~~ＵＫＺ業務で強制入力待ちとなった場合~~ | ~~入力者~~ |

７．特記事項

　　　ＣＳＦオンラインメンテナンス規制時間帯ＤＢにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。（規制時間帯は別途定めることとする）